

令和4年度 県学校教育の重点

- 『ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望をもって粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり』
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成
 - 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援
 - ☆地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり



本年度の重点目標

努力事項と具体的な取組 (□努力事項 ○取組)

- 「伝える力」・「読み取る力」の育成
 - 自分の考えをしっかりと伝える授業を展開する。
 - 読書活動を重視し、「読み取る力」を育成する。
 - 課題を提示し、まとめ・振り返りを重視した授業を工夫する。
 - ICTを効果的に活用した授業づくりを行う。
- 基礎・基本の定着
 - 学力向上糸魚川プランで集中力と基礎学力を育成する。
(ます計算・漢字前倒し学習・音読の反復・集中学習)
 - ワークテストによる学力の定着確認と補充学習
- 早川に愛着と誇りをもつ子の育成
 - 地域の特色と人材を生かした学習を進める。
 - 自然に対する感性や言語感覚を磨く俳句学習(特色ある教育活動)

目標とする成果 (評価項目)

- 学習で、「自分の考えを表現したり、友達の話の聴いたりすることができた」とする児童を85%以上 【学期末評価・自己評価】
- 国語・算数のワークテストで、目標値を上回る児童を80%以上 【学期末評価】
- 「1日 学年×10分以上 読書や家庭学習をした」とする児童を80%以上 【学期末・アンケート】
- 「地域の特色や地域の人とかかわりながら学習できた」とする児童を80%以上 【学期末・アンケート】

特色ある教育活動

- 地域伝統のスポーツ クロスカントリースキー学習
- 地域を愛しふるさと意識を育むジオ学習、地産地消給食
- 自然を守り、育てる「つつじが丘緑の少年団」活動、愛鳥活動
- 全校遠足や全校遊び等心をつなぐ縦割り班活動

学校運営協議会

- ◎学校と地域とで目指す子ども像
「ふるさと早川に愛着をもち、目標に向かってがんばる子」
- ◎学校運営への参画・支援
- ◎地域の「ひと、もの、こと」の情報提供

令和4年度 下早川小学校 グランドデザイン

教育目標 一歩前へ



- 知：進んで学び 高め合う子
- 徳：自分を見つめ よりよく友達とかかわろうとする子
- 体：体力づくりに 進んで挑戦する子

- 自分も友達も大切に、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成
 - 思いやりの心を育成するための重点指導を行う。
 - ・全校ソーシャルスキルトレーニング(SST)を年2回実施する。
 - ・人権強調月間を中心に、人権教育、同和教育に関する授業や、一人ひとりを大切にする取組、互いを尊重し合う雰囲気づくりを意識して行う。
 - ・ありがとうメッセージ週間を実施する。
 - 全教育活動を通して、児童一人ひとりの自己有用感を育てる。
 - 児童一人ひとりが居心地の良い学級づくりに取り組む。
 - 道徳の授業を中核として、自己を見つめ、生き方についての考えを深めようとする意欲を高める。
- 学校・地域・家庭で、相手に聞こえる声で進んであいさつをする態度と気持ちの育成
 - 児童の発達段階に合わせて、あいさつについての指導を行う。
 - ・児童会組織を活用し工夫しながら、あいさつ運動を実施する。
 - ・児童の発達段階に応じて、学年ごとに「オアシス運動」を展開する。

- 「道徳の授業で、話し合いを通して考えを深めることができた」とする児童が80%以上 【学期末・アンケート】
- 「友達への言葉遣いに気を付けている」とする児童が90%以上 【学期末・アンケート】
- 「困っている人に手助けや声かけをする」とする児童が80%以上 【学期末・アンケート】
- 「友人との関係」の肯定的回答が80%以上 【Q-Uテスト】
- 「進んで相手に聞こえる声であいさつができる」とする児童が90%以上 【学期末・アンケート、実態調査】
- 「あいさつがよくできている」の保護者評価が90%以上 【学期末・アンケート】

地域とともに歩む学校づくり

P T A ・ ボ ラ ン テ ィ ア

- ◎P T A活動の推進(各専門部活動など)
- ◎学校行事への参加・協力(クラブ活動ボランティアなど)
- ◎安心安全な登下校(防犯パトロール)

糸魚川東中学校区の連携

- ◎4部会(学力向上・社会性育成・体づくり・個の伸長)による取組
- ◎各学校・園への相互参観
- ◎中1チャンス宿泊学習による仲間づくり

こども一貫教育の基本理念

- 健康・心・学力のバランスのとれた子どもを育てる。
- 一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てる。
- ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子どもを育てる。
- 家庭、園・学校、地域が力を合わせて糸魚川の子どもを育てる。

941-0014 糸魚川市日光寺322
<http://www.itoigawa.ed.jp/tukimizu/>



口めあてをしっかりとち、体づくりに励む態度の育成

- 体を動かすことが好きになる体育授業や遊びを工夫する。
 - ・体力、技能向上のための用具や環境を計画的に整備する。

口早寝・早起き等の望ましい生活習慣の育成

- 年3回の強調週間(6月:歯と口の健康旬間 9、10月:生活リズム改善事業 1月:かせ予防週間)を設け、健康への関心や意欲を高める。
 - ・メディアコントロールを含めた生活習慣に関する保健指導の成果と課題を保護者へ発信し、啓発活動を効果的に行う。
- 日常から良い座姿勢を意識し、それを保つことで、健康な生活への意識を高める。
 - ・Gボールを用いて、自分にとって良い感覚の姿勢を形成する活動を推進する。

口自然災害の特徴を知り、自分の身を守るための知識と行動力の育成

- 年間指導計画に基づいた各自然災害の学習を発達段階に応じて確実にを行い、訓練等で実践力を高める。

- 「体育の授業や休み時間にすすんで体を動かしている」とする児童が80%以上 【学期末・アンケート】
- 「基本的な生活習慣が身に付いている」とする児童・保護者評価が80%以上 【学期末・アンケート】
- メディア時間について、平日2時間・休日3時間未満を守る児童が70%以上 【学期末・アンケート】
- 「自然災害が発生したときにどう行動するべきか分かる」児童が100% 【学習後・ワークシート等】

